

**CASBEE-新築(簡易版)2008年版**  
**(仮称)相模原敬寿園**

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年  
 評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>0 建築物の環境品質</b>								<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	<b>2.6</b>	1.00			<b>2.6</b>
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1.1.1 暗騒音レベル		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00			
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
1.2.1 開口部遮音性能		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.30			
1.2.2 界壁遮音性能		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.30			
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20			
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.3</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.2</b>
2.1 室温制御		<b>3.7</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
2.1.1 室温設定		<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	0.57			
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
2.1.3 外皮性能		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.43			
2.1.4 ゾーン別制御性	マルチユニット型空調機を採用	<b>5.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	-			
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
2.1.6 個別制御		-	-	-	-			
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
2.1.8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.5</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.0</b>
3.1 昼光利用		<b>3.6</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30			
3.1.1 昼光率	昼光率計算より昼光率は共用部2.4%、宿泊部2.3%	<b>4.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60			
3.1.2 方位別開口		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-			
3.1.3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			
3.2 グレア対策		<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30			
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
3.2.2 昼光制御		<b>1.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15			
3.3.1 照度		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00			
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御	個室においてベッド単位の細やかな照明制御ができる	<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25			
<b>4 空気環境</b>		<b>4.1</b>	0.25	<b>4.7</b>	1.00			<b>4.3</b>
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.63			
4.1.1 化学汚染物質	全面的にF を採用	<b>5.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	1.00			
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>2.0</b>	0.30	<b>4.3</b>	0.38			
4.2.1 換気量		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33			
4.2.2 自然換気性能	自然換気性能計算より自然換気有効開口面積1.785㎡	<b>3.0</b>	-	<b>5.0</b>	0.33			
4.2.3 取り入れ外気への配慮	個室において共同室の全熱交換機より給気自室の換気扇で排気	<b>1.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.33			
4.2.4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		<b>5.0</b>	0.20	-	-			
4.3.1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>3.0</b>	-	-	-			
4.3.2 喫煙の制御	全面禁煙	<b>5.0</b>	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>2.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.2</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>2.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ	14.7㎡/人	<b>3.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60			
1.1.1 広さ・収納性		<b>3.0</b>	-	<b>5.0</b>	1.00			
1.1.2 高度情報通信設備対応		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-			
1.1.3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-			
1.2 心理性・快適性		<b>1.0</b>	0.40	<b>2.0</b>	0.40			
1.2.1 広さ感・景観		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50			
1.2.2 リフレッシュスペース		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-			
1.2.3 内装計画		<b>1.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1.3.1 維持管理に配慮した設計		<b>3.0</b>	-	-	-			
1.3.2 維持管理用機能の確保		<b>3.0</b>	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.3</b>	0.31	-	-			<b>3.3</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.48	-	-			
2.1.1 耐震性		<b>3.0</b>	0.80	-	-			
2.1.2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>4.0</b>	0.33	-	-			
2.2.1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.23	-	-			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁タイル 耐用年数40年	<b>5.0</b>	0.23	-	-			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:塩ビシート 20年、壁:ビニルクロス 20年、天井:ビニルクロス+PB 10年	<b>3.0</b>	0.09	-	-			
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出はステンレスダクト	<b>4.0</b>	0.08	-	-			
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管:塩ビラジコ鋼管 B 給湯:SUS管 C 雑排水:塩ビ管 B	<b>5.0</b>	0.15	-	-			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	送風機 耐用年数20年	<b>4.0</b>	0.23	-	-			

2.3 適切な更新			-	-	-	-	
2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			2.9	0.29	2.5	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			2.8	0.31	2.0	0.50	
1	階高のゆとり		2.0	0.60	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.21(共用部分)	4.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	適切な緑地を設けている。	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制		PAL値288.3 PAL低減率15.2%	4.0	0.30	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		設備の高効率化による ERR=19.3	4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	運用・維持・保全の基本方針が計画されている	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			2.2	0.15	-	-	2.2
1.1	節水		1.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.63	-	-	2.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.21	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22	-	-	3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	塗料・接着材などに有害物質を含まない材料を使用	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤の使用無し	4.0	0.33	-	-	
2	断熱材		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		LCCO2削減率 18%	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐車場・駐輪場あり	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	